

令和4年(2022)人口動態統計(概数)

秋田県の概況

目次

	頁
調査結果の概況	1
第1表 人口動態指標の状況	2
第2表 主な死因別死亡数等の状況	2
第3表 人口動態指標の年次推移	3
第4表 人口動態指標の各都道府県の状況	4
第5表 主な死因別死亡率の各都道府県の状況	5
第6表の1 東北6県の状況(人口動態指標)	6
第6表の2 東北6県の状況(主な死因及び自殺による死亡)	6
(参考)	
人口動態調査とは	7
秋田県の自殺者数及び自殺死亡率の推移	8

(調査期間：令和4年1月1日～令和4年12月31日)

※掲載の数値は四捨五入してあるので、内訳の合計が「総数」に合わない場合があります。

秋田県健康福祉部健康づくり推進課

問合せ先：調整・健康寿命延伸チーム
電話：018-860-1426

調査結果の概況

秋田県の令和4年1月～12月の人口動態統計（概数）の状況は次のとおりです。

1 出生

- ・出生数は、3,992人で前年の4,335人より343人の減少。
- ・出生率は、人口千対4.3で前年の4.6より0.3ポイントの減少。
〔全国は6.3 全国順位47位（平成7年以来、28年連続）〕
- ・1人の女性が一生涯に産む子供の数を表す合計特殊出生率は、1.18で前年の1.22より0.04ポイントの減少。
〔全国は1.26 全国順位40位（前年40位）〕

2 死亡

- ・死亡数は、17,255人で前年の16,019人より1,236人の増加。
- ・死亡率は、人口千対18.6で前年の17.0より1.6ポイントの増加。
〔全国は12.9 全国順位1位（平成24年以来、11年連続）〕

（1）がん（悪性新生物＜腫瘍＞）

- ・死亡数は、4,260人で前年の4,136人より124人の増加。
- ・死亡率は、人口10万対460.0で前年の439.5より20.5ポイントの増加。
〔全国は316.1 全国順位1位（平成9年以来、26年連続）〕

（2）心疾患（高血圧性を除く）

- ・死亡数は、2,119人で前年の2,118人より1人の増加。
- ・死亡率は、人口10万対228.8で前年の225.1より3.7ポイントの増加。
〔全国は190.8 全国順位13位（前年11位）〕

（3）脳血管疾患

- ・死亡数は、1,573人で前年の1,575人より2人の減少。
- ・死亡率は、人口10万対169.9で前年の167.4より2.5ポイントの増加。
〔全国は88.1 全国順位1位（前年1位）〕

（4）自殺

- ・死亡数は、209人で前年の177人より32人の増加。
- ・死亡率は、人口10万対22.6で前年の18.8より3.8ポイントの増加。
〔全国は17.4 全国順位は1位（前年8位）〕

3 乳児（生後1年未満）死亡

- ・死亡数は、5人で前年と同数。
- ・死亡率は、出生千対1.3で前年の1.2より0.1ポイントの増加。
〔全国は1.8 全国順位35位（前年41位）〕

4 周産期死亡

- ・死亡数は、11人で前年の14人より3人の減少。
- ・死亡率は、出産千対2.7で前年の3.2より0.5ポイントの減少。
〔全国は3.3 全国順位44位（前年30位）〕

5 自然増減

- ・出生数から死亡数を減じた自然増減数は△13,263人。前年の△11,684人より1,579人の減少。
- ・自然増減率は、人口千対△14.3で前年の△12.4より1.9ポイントの減少。
〔全国は△6.5 全国順位47位（平成24年以来、11年連続）〕

6 婚姻

- ・婚姻数は、2,447組で前年の2,618組より171組の減少。
- ・婚姻率は、人口千対2.6で前年の2.8より0.2ポイントの減少。
〔全国は4.1 全国順位47位（平成12年以来、23年連続）〕

7 離婚

- ・離婚数は、1,068組で前年の1,043組より25組の増加。
- ・離婚率は、人口千対1.15で前年の1.11より0.04ポイントの増加。
〔全国は1.47 全国順位43位（前年47位）〕

人口動態指標の状況

第1表

(令和4年)

区 分	実 数			率					全国(率) (令和4年)	
	4年	3年	増 減 (4年-3年)	4年	本 県 の 全国順位	3年	本 県 の 全国順位	増 減 (4年-3年)		
分母に用いた人口	926,000	941,000	△ 15,000							
出 生	3,992	4,335	△ 343	4.3	47	4.6	47	△ 0.3	6.3	
死 亡	17,255	16,019	1,236	18.6	1	17.0	1	1.6	12.9	
自 然 増 減	△ 13,263	△ 11,684	△ 1,579	△ 14.3	47	△ 12.4	47	△ 1.9	△ 6.5	
乳 児 死 亡	5	5	0	1.3	35	1.2	41	0.1	1.8	
新 生 児 死 亡	3	3	0	0.8	17	0.7	29	0.1	0.8	
死 産	総 計	80	100	△ 20	19.6	20	22.5	3	△ 2.9	19.3
	自 然	48	54	△ 6	11.8	4	12.2	2	△ 0.4	9.4
	人 工	32	46	△ 14	7.9	38	10.4	16	△ 2.5	9.9
周 産 期 死 亡	11	14	△ 3	2.7	44	3.2	30	△ 0.5	3.3	
婚 姻	2,447	2,618	△ 171	2.6	47	2.8	47	△ 0.2	4.1	
離 婚	1,068	1,043	25	1.15	43	1.11	47	0.04	1.47	
合計特殊出生率				1.18	40	1.22	40	△ 0.04	1.26	

(注) 率の算出は、乳児、新生児の死亡率は出生千対、周産期の死亡率は出産（出生+妊娠22週以後の死産）千対。

死産率は出産（出生+死産）千対。その他は人口千対。

主な死因別死亡数等の状況

第2表

(令和4年)

死 因	死亡数			率					全国(率) (令和4年)
	4年	3年	増 減 (4年-3年)	4年	本 県 の 全国順位	3年	本 県 の 全国順位	増 減 (4年-3年)	
悪性新生物<腫瘍>	4,260	4,136	124	460.0	1	439.5	1	20.5	316.1
心疾患(高血圧性を除く)	2,119	2,118	1	228.8	13	225.1	11	3.7	190.8
老衰	1,964	1,644	320	212.1	5	174.7	8	37.4	147.1
脳血管疾患	1,573	1,575	△ 2	169.9	1	167.4	1	2.5	88.1
肺炎	796	820	△ 24	86.0	9	87.1	6	△ 1.1	60.6
誤嚥性肺炎	594	517	77	64.1	6	54.9	7	9.2	45.9
不慮の事故	484	466	18	52.3	3	49.5	1	2.8	35.5
腎不全	339	305	34	36.6	6	32.4	7	4.2	25.2
アルツハイマー病	434	414	20	46.9	2	44.0	2	2.9	20.4
血管性及び 詳細不明の認知症	359	316	43	38.8	1	33.6	5	5.2	20.0
糖尿病	183	178	5	19.8	2	18.9	1	0.9	13.0
自殺	209	177	32	22.6	1	18.8	8	3.8	17.4
新型コロナウイルス感染症	479	21	458	51.7	3	2.2	44	49.5	39.0

(注) 死亡率は人口10万対。

※ 3年実数、死亡数及び率は、令和4年9月公表「令和3年人口動態統計(確定数)」値
ただし、新型コロナウイルス感染症については、確定数が公表されていないことから、令和4年6月公表「令和3年人口動態
統計(概数)」値を用いている。

人口動態指標の年次推移

第3表

(令和4年)

年次	出生率	死亡率	自然増減率	乳児死亡率	新生児死亡率	死産率 (出産千対)	周産期死亡率 (出産千対)	婚姻率	離婚率	合計特殊出生率
	(人口千対)			(出生千対)				(人口千対)		
昭和22年	38.0	15.9	22.1	97.0		44.7		13.1	1.69	
25年	32.6	12.2	20.4	79.8		78.5		9.0	1.24	
30年	22.5	8.4	14.1	53.4	27.6	89.1	44.5	7.9	0.87	2.75
35年	17.6	7.7	9.9	36.5	19.2	104.1	38.5	8.7	0.81	2.09
40年	15.5	7.7	7.8	23.4	15.0	93.1	32.5	7.5	0.78	2.03
45年	14.3	7.7	6.6	15.9	10.6	77.7	21.1	7.7	0.83	1.88
50年	14.2	7.4	6.8	11.7	8.5	57.0	16.9	7.7	0.96	1.86
55年	13.0	7.4	5.6	7.9	5.1	44.7	9.9	6.2	1.05	1.79
56年	12.2	7.1	5.1	6.7	4.5	50.7	10.0	6.1	1.14	1.72
57年	12.1	7.2	5.0	5.4	3.6	48.7	9.1	6.0	1.17	1.74
58年	11.9	7.5	4.4	5.9	4.1	47.5	9.4	5.8	1.29	1.76
59年	11.9	7.5	4.4	6.3	3.7	44.5	8.5	5.5	1.23	1.82
60年	10.9	7.5	3.4	5.7	3.7	44.5	5.9	5.3	1.16	1.69
61年	10.6	7.6	3.0	6.0	4.2	47.8	8.6	5.0	1.09	1.69
62年	10.3	7.7	2.6	5.4	3.5	46.3	8.0	4.9	1.06	1.68
63年	9.8	8.3	1.5	5.8	3.6	45.0	6.5	4.8	1.00	1.63
平成元年	9.4	7.9	1.5	4.5	3.0	42.8	5.1	4.8	1.05	1.61
2年	9.0	8.2	0.8	5.1	3.4	44.2	6.3	4.6	1.02	1.57
3年	8.8	8.4	0.4	4.8	2.8	44.6	5.1	4.8	1.05	1.61
4年	8.8	8.7	0.1	4.5	2.3	42.1	5.4	4.8	1.13	1.62
5年	8.5	8.9	△ 0.4	4.8	3.1	44.9	6.5	4.9	1.17	1.56
6年	8.9	9.1	△ 0.2	3.7	2.7	36.8	5.4	4.9	1.21	1.66
7年	8.2	9.0	△ 0.8	4.8	2.2	39.4	8.2	4.9	1.22	1.56
8年	8.1	9.2	△ 1.1	3.4	2.2	35.7	6.8	4.8	1.22	1.52
9年	8.0	9.6	△ 1.5	2.6	1.3	36.6	6.5	4.6	1.42	1.52
10年	7.8	9.6	△ 1.8	3.6	2.5	35.0	7.9	4.8	1.49	1.48
11年	7.7	10.2	△ 2.5	3.5	2.3	34.2	6.3	4.7	1.55	1.45
12年	7.6	10.1	△ 2.5	2.6	1.1	32.6	4.2	4.8	1.62	1.45
13年	7.5	10.1	△ 2.5	3.0	1.9	34.2	5.5	4.9	1.87	1.40
14年	7.2	10.4	△ 3.2	2.4	1.5	38.0	6.5	4.5	1.89	1.37
15年	6.9	10.8	△ 3.9	4.0	2.1	33.8	6.4	4.5	1.85	1.31
16年	6.9	11.0	△ 4.1	2.4	1.9	37.3	6.1	4.4	1.76	1.30
17年	6.7	11.4	△ 4.7	2.2	1.0	31.1	4.7	4.3	1.63	1.34
18年	6.8	12.0	△ 5.2	2.7	1.4	32.8	5.9	4.2	1.68	1.34
19年	6.7	12.3	△ 5.6	1.9	1.1	25.8	4.0	4.0	1.70	1.31
20年	6.7	12.3	△ 5.6	2.7	1.6	27.4	5.4	4.1	1.65	1.32
21年	6.4	12.7	△ 6.3	2.4	0.7	26.4	4.7	4.0	1.56	1.29
22年	6.2	13.2	△ 7.0	2.2	0.9	26.4	6.5	4.0	1.66	1.31
23年	6.2	13.7	△ 7.4	2.3	0.8	28.0	4.0	3.8	1.45	1.35
24年	6.2	14.0	△ 7.8	1.7	0.9	25.5	4.1	3.8	1.41	1.37
25年	5.9	14.2	△ 8.3	1.6	0.3	23.6	3.1	3.7	1.42	1.35
26年	5.8	14.6	△ 8.8	2.5	1.0	26.8	5.5	3.7	1.40	1.34
27年	5.7	14.5	△ 8.8	0.7	0.2	21.7	2.9	3.5	1.50	1.35
28年	5.6	15.1	△ 9.5	2.3	1.1	22.9	4.6	3.5	1.38	1.39
29年	5.4	15.5	△ 10.1	3.3	2.2	19.6	4.1	3.3	1.38	1.35
30年	5.2	15.8	△ 10.6	2.6	1.8	22.3	4.5	3.1	1.27	1.33
令和元年	4.9	16.4	△ 11.5	2.1	1.1	24.3	5.5	3.3	1.33	1.33
2年	4.7	16.1	△ 11.4	2.0	0.9	21.3	4.0	2.8	1.27	1.24
3年	4.6	17.0	△ 12.4	1.2	0.7	22.5	3.2	2.8	1.11	1.22
4年	4.3	18.6	△ 14.3	1.3	0.8	19.6	2.7	2.6	1.15	1.18

(注) 率の算出は、乳児、新生児の死亡率は出生千対、周産期の死亡率は出産（出生+妊娠22週以後の死産）千対。死産率は出産（出生+死産）千対。その他は人口千対。

東北6県の状況

第6表の1 (人口動態指標)

(令和4年)

県名	出生率	合計特殊出生率	死亡率	乳児死亡率	周産期死亡率	婚姻率	離婚率
秋田	4.3	1.18	18.6	1.3	2.7	2.6	1.15
青森	5.0	1.24	16.8	1.5	3.2	3.1	1.39
岩手	4.9	1.21	16.5	2.6	3.6	3.0	1.27
宮城	5.7	1.09	12.4	1.5	2.9	3.7	1.35
山形	5.5	1.32	16.3	2.8	5.1	3.1	1.16
福島	5.5	1.27	15.4	2.5	3.6	3.4	1.44

第6表の2 (主な死因及び自殺による死亡)

(令和4年)

県名	悪性新生物 <腫瘍>		心疾患 (高血圧性を除く)		脳血管疾患		自殺	
	実数	率	実数	率	実数	率	実数	率
秋田	4,260	460.0	2,119	228.8	1,573	169.9	209	22.6
青森	5,051	421.6	2,956	246.7	1,486	124.0	242	20.2
岩手	4,531	386.3	2,993	255.2	1,938	165.2	250	21.3
宮城	7,195	318.9	4,194	185.9	2,424	107.4	394	17.5
山形	3,941	381.5	2,623	253.9	1,378	133.4	184	17.8
福島	6,481	364.9	4,110	231.4	2,312	130.2	345	19.4

人口動態調査とは

1. 調査目的 我が国の人口動態事象を把握し、人口及び厚生労働行政施策の基礎資料を得ることを目的とする。
2. 調査期間 令和4年1月1日～令和4年12月31日
3. 調査方法 市町村長は、出生、死亡、婚姻、離婚及び死産の届書に基づいて人口動態調査票を作成する。

4. 用語の説明

自然増減：出生数から死亡数を減じたもの

乳児死亡：生後1年未満の死亡

新生児死亡：生後4週未満の死亡

早期新生児死亡：生後1週未満の死亡

死産：妊娠満12週以後の死児の出産

*自然死産と人工死産

人工死産とは、胎児の母体内生存が確実であるときに、人工的処置（胎児または付属物に対する措置及び陣痛促進剤の使用）を加えたことにより死産に至った場合をいい、それ以外はすべて自然死産とする。

なお、人工的処置を加えた場合でも、次のものは自然死産とする。

(1) 胎児を出生させることを目的とした場合

(2) 母体内の胎児が生死不明か、または死亡している場合

周産期死亡：妊娠満22週以後の死産に早期新生児死亡を加えたもの

合計特殊出生率：15歳から49歳までの女性の年齢別出生率を合計したもので、1人の女性が仮にその年次の年齢別出生率で一生の間に生むとしたときの子ども数に相当する。

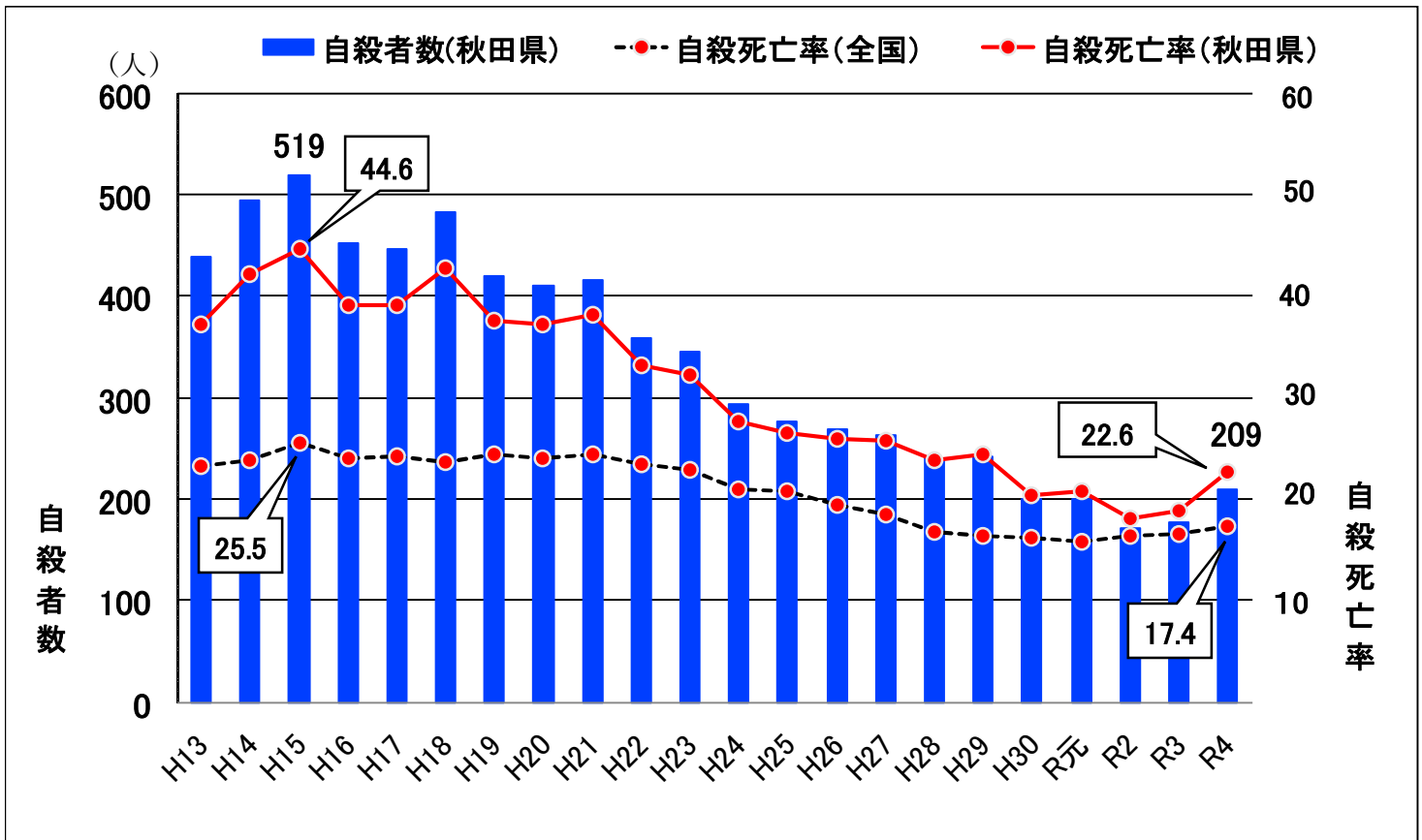
5. 比率の解説

$$\begin{aligned} \text{出生率} &= \frac{\text{4年の出生数}}{\text{4年10月1日現在の人口}} \times 1,000 \\ \text{合計特殊出生率} &= \left[\frac{\text{母の年齢別出生数}}{\text{年齢別女性人口}} \right]_{15歳から49歳までの合計} \\ \text{死亡率} &= \frac{\text{4年の死亡数}}{\text{4年10月1日現在の人口}} \times 1,000 \text{ (死因別は100,000)} \\ \text{自然増減率} &= \frac{\text{4年の自然増減数}}{\text{4年10月1日現在の人口}} \times 1,000 \\ \text{死産率} &= \frac{\text{4年の死産数}}{\text{4年の出産数 (出生数 + 死産数)}} \times 1,000 \\ \text{婚姻率} &= \frac{\text{4年の婚姻届出件数}}{\text{4年10月1日現在の人口}} \times 1,000 \\ \text{乳児死亡率} &= \frac{\text{4年の乳児死亡数}}{\text{4年の出生数}} \times 1,000 \\ \text{周産期死亡率} &= \frac{\text{4年の妊娠満22週以後の死産数 + 早期新生児死亡数}}{\text{4年の出産数 (出生数 + 妊娠満22週以後の死産数)}} \times 1,000 \end{aligned}$$

6. 分母に用いた人口 秋田県 926千人

(総務省統計局の資料に基づき、厚生労働省大臣官房統計情報部人口動態・保健社会統計課で推計。)

秋田県の自殺者数及び自殺死亡率の推移



○全国と県の自殺死亡率の比較

過去最高を記録した平成15年の自殺死亡率（人口10万人当たり）は、全国25.5、本県44.6と、19.1ポイントの差があったが、令和2年には、全国16.4、本県18.0と、その差が1.6ポイントまで縮小された。しかしながら、令和4年は全国17.4、本県22.6と5.2ポイント差まで広がっている。

○秋田県の自殺対策の主な取組について

本県は、他県と比べて自殺予防活動に取り組んでいる民間団体等が多く、このため、「民・学・官・報」が一体となり、啓発活動等の予防運動を実施している。県においては、平成12年度から本格的な自殺対策事業を開始している。

- 平成13年 「あきた21総合発展計画」、「健康秋田21計画」に自殺予防の数値目標を設定
「心の健康づくり・自殺予防対策モデル事業」を実施
- 平成19年 「あきたいのちのケアセンター」を設置し、電話と面接によるケアを開始
- 平成22年 「民・学・官」の連携を強化するため、「秋田ふきのとう県民運動実行委員会」を設立
- 平成27年 「心はればれゲートキーパー養成講座」の開始
- 平成30年 「秋田県自殺対策計画」の策定（計画期間 平成30年度～令和4年度）
- 令和2年 SNSを活用した相談支援事業の実施（補助事業）
- 令和3年 秋田大学が「自殺予防総合研究センター」を開設（補助事業）
- 令和5年 「秋田県自殺対策計画」の改訂（計画期間 令和5年度～令和9年度）